

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

保 管 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月26日		(水)	8:00		承認	審査	作成
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	H6タンクエリア						2018/11/29	2018/11/29
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員		TEL	
	元請会社					担当者		TEL	
	線量測定年月日	2018/11/15	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
1	不燃物その他	B	10	D	A	2.5 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無
2	塩化ビニール類	B	05	D	A	2.5 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			
4tユニット1台									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0113
				2018/11/29
調整後保管日時		2018年12月26日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2		ICWBL	F1-ICWBL-127
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/12/26 8:40	3 m ²			1
	2	1	塩化ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/26 8:45	0.5 m ²			2
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13	—	14	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		D	伐 採 木						
	③	状 態		D:乾燥, W:湿気有	履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月26日	(水)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H5タンクエリア			2018/11/29	2018/11/29	2018/11/29			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/11/6	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号 1F-ICWBL-14			
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	W	A	30 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5					m ²				
	大型6台									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0114
				2018/11/29
調整後保管日時		2018年12月26日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/12/26 8:35	5 m ²			1
	1	2	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/12/26 8:45	5 m ²			1
	1	3	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/12/26 9:05	5 m ²			1
	1	4	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/12/26 9:15	5 m ²			1
	1	5	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/12/26 9:35	5 m ²			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13	—	14	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
	③	D	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③					
	6					m ²				
	7					m ²				
	8					m ²				
	9					m ²				
10						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	12	—	0114

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013801 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月26日		(水)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F 4m盤エリア排水設備工事									
	発生場所	1-4号機取水口付近						2018/12/4	2018/12/4		
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/11/30	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-GMAD-248		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	不燃物その他			B	10	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2								m ²			
3								m ²			
4								m ²			
5								m ²			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	12	—	0187
				2018/12/4
調整後保管日時		2018年12月26日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-042	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/26 8:15	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013801 - 0005

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月26日		(水)	8:30		承認	審査	作成
	作業件名	1F 4m盤エリア排水設備工事							
	発生場所	1-4号機取水口付近						2018/12/4	2018/12/4
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2018/11/30	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-GMAD-248
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
1	金属ガラ	B	01	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	12	—	0188
				2018/12/4
調整後保管日時		2018年12月26日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-042	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/26 9:25	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
②	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	06	塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	11	不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	16	—
③	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	06	—
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	06	—
④	D	伐採木	01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013801 - 0005

作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月26日	(水)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F 4m盤エリア排水設備工事								
	発生場所	1-4号機取水口付近			2018/12/4	2018/12/4	2018/12/4			
	作業主管G	地下水調査グループ	監理員		TEL					
	元請会社		担当者		TEL					
	線量測定年月日	2018/11/30	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-GMAD-248		
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0189
				2018/12/4
調整後保管日時		2018年12月26日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-042
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/26 9:30	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013801 - 0005

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年12月26日	(水)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F 4m盤エリア排水設備工事								
	発生場所	1-4号機取水口付近			2018/12/4	2018/12/4	2018/12/4			
	作業主管G	地下水調査グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/11/30	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-GMAD-248			
G	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	不燃物その他	B	10	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	12	—	0190
				2018/12/4
調整後保管日時		2018年12月26日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-042	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他 ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/26 12:05	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0002

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年12月26日	(水)	12:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F 2.5m盤排水効率向上工事								
	発生場所	1-4号機取水口付近			2018/12/4	2018/12/4	2018/12/4			
	作業主管G	地下水調査グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/11/30	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-GMAD-248		
メ モ	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β - α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	ケーブル類	B	08	D	B	1 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m			
	3						m			
	4						m			
	5						m			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	12	—	0191
				2018/12/4
調整後保管日時		2018年12月26日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-042	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル類②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/26 11:35	0.1 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		D	伐採木						
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β + γ 線量率欄に「 β + γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0027

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月26日		(水)	10:00		承認	審査	作成											
	作業件名	H5北・H6北エリアタンクリブレイス関連工事																		
	発生場所	H4東側仮置き場						2018/12/5	2018/12/5	2018/12/5										
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員		TEL												
	元請会社					担当者		TEL												
	線量測定年月日	2018/12/4	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-140												
No.	保管物名	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率										
		①	②	③																
		1	紙・ウエス類	A	01						D	B	0.3	m ²	0.002	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
		2	廃棄フレコンバック	A	04						D	B	0.1	m ²	0.002	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
		3																		
		4																		
5																				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0198
				2018/12/5
調整後保管日時		2018年12月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/26 10:00	0.1 m ²			1
	2	1	廃棄フレコンバック	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/26 10:00	0.9 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木										
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0183

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月26日	(水)	10:30	承認	審査	作成				
	作業件名	セシウム吸着装置保守管理委託									
	発生場所	旧 事務所工作場(グリット番号:GT-23)			2018/12/7	2018/12/7	2018/12/7				
	作業主管G	処理設備グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/11/29	測定者			測定器名	①F1-ICW				
						管理番号	112				
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β - α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	金属ガラ	B	01	D	B	1 m ²	0.001 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	ケーブル類	B	08	D	B	0.5 m ²	0.001 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3						m ²				
	4						m ²				
メ モ	処理方法:持込 日時:平成30年12月26日 10:30										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0226
				2018/12/7
調整後保管日時		2018年12月26日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-042	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/26 10:30	1 m ²			1
	2	1	ケーブル類②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/26 10:30	0.3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
	③	状 態		D:乾燥, W:湿気有		履 歴		
						A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β + γ 線量率欄に「 β + γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0016

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年12月26日		(水)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	残Co処理エリア					2018/12/7	2018/12/7	2018/12/7	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/12/6	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	コンクリートガラ	B	02	D	A	20 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
メモ	10tダンプ(5m3分) × 4台 = 20m3 コンクリートガラ搬出いたします。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	12	—	0231
				2018/12/7
調整後保管日時		2018年12月26日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/12/26 8:05	5 m ³			1
1	2	2	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/12/26 8:30	5 m ³			1
1	3	3	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/12/26 9:20	5 m ³			1
1	4	4	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/12/26 11:25	5 m ³			1
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木										
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0016

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年12月26日	(水)	10:00	承認	審査	作成												
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事																	
	発生場所	残Go処理エリア			2018/12/7	2018/12/7	2018/12/7												
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL													
	元請会社			担当者		TEL													
	線量測定年月日	2018/12/6	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号												
							T-ICWBL-04												
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率										
		①	②	③															
	1	鉄筋ガラ	B	01						D	A	5	m ²	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無	
	2												m ²						
	3												m ²						
	4												m ²						
メモ	10tダンプ(5m3分) × 1台 = 5m3 鉄筋ガラ搬出いたします。																		

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	12	—	0232
				2018/12/7
調整後保管日時		2018年12月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鉄筋ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/12/26 12:20	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012314 - 0003

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月26日		(水)	10:00		承認	審査	作成
	作業件名	福島第一原子力発電所 構内休憩所他の放射線管理業務							
	発生場所	水処理制御室、他4休憩所						2018/12/7	2018/12/7
	作業主管G	作業環境改善グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2018/12/5	測定者		測定器名	ICW	管理番号	FI-ICW-170	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
1	ゴム類	C	01	D	B	0.5 m ²	3 μSv/h	3 μSv/h	無
2	難燃シート類	C	02	D	B	3 m ²	3 μSv/h	3 μSv/h	無
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	12	—	0239
				2018/12/10
調整後保管日時		2018年12月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	FI-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゴム類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/26 10:00	0.1 m ²			1
	2	1	難燃シート類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/26 10:00	0.9 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012314 - 0003

作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年12月26日	(水)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	福島第一原子力発電所 構内休憩所他の放射線管理業務							
	発生場所	水処理制御室、他4休憩所			2018/12/7	2018/12/7	2018/12/6		
	作業主管G	作業環境改善グループ		監理員		TEL			
	元請会社			担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/12/5	測定者		測定器名	ICW	管理番号 FI-ICW-170		
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	紙・ウエス類	A 01	D B	3 m ²	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無	
	2	金属ガラ	B 01	D B	2 m ²	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無	
	3	塩化ビニール	B 05	D B	3 m ²	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無	
	4	不燃物その他	B 10	D B	2 m ²	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無	
5									
メ モ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0240
				2018/12/10
調整後保管日時		2018年12月26日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2		ICW	F1-ICW-042
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h			エリアJ	2018/12/26 10:30	1 m ²			1
2	1	金属ガラ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h			エリアP1(屋外)	2018/12/26 10:05	1 m ²			2
3	1	塩化ビニール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h			エリアJ	2018/12/26 10:30	0.2 m ²			1
4	1	不燃物その他②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h			エリアP1(屋外)	2018/12/26 10:05	1 m ²			2
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012802 - 0050

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月26日	(水)	11:30	承認	審査	作成			
	作業件名	NW水処理設備修理工事								
	発生場所	水処理建屋北側 大物搬入口 (GQ-18北)			2018/12/7	2018/12/7	2018/12/7			
	作業主管 G	廃棄物設備グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/12/5	測定者		測定器名	ICW	管理番号			
							リ-ICW-163			
記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙・ウエス	A	01	W	A	1 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2	ビニール類	A	02	D	A	0.5 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	3	木材(パレット)	A	03	D	A	1 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	4						m ²			
5						m ²				
企業殿持込み										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0241
				2018/12/10
調整後保管日時		2018年12月26日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	3	1	木材(パレット)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアJ	2018/12/26 11:30	0.8 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0027

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月26日		(水)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	H5北・H6北エリアタンクリプレイス関連工事								
	発生場所	G1タンクエリア H1タンクエリア						2018/12/6	2018/12/6	2018/12/6
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/11/22	測定者			測定器名	ICW(BL)		管理番号	F1-ICWBL-34
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	アクリル板	B	05	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	金属ガラ	B	01	D	B	2.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	制御盤	B	03	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	バッテリー	B	10	D	B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
5	ケーブル	B	08	D	B	0.3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	12	—	0242
				2018/12/10
調整後保管日時		2018年12月26日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2		ICWBL	F1-ICWBL-42	
3		ICWBL	F1-ICWBL-127	
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アクリル板	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/26 10:50	0.3 m ²			1
	2	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/26 11:00	2.5 m ²			2
	3	1	制御盤②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/26 11:00	1 m ²			2
	4	1	バッテリー⑥	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/12/26 11:00	0.1 m ²			2
	5	1	ケーブル②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/26 11:00	0.2 m ²			2
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③									
	6	ゴム類	C	01	D	B	0.3	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	7	難燃シート類	C	02	D	B	0.5	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	8	難燃物その他	C	04	D	B	0.3	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	9						m ²							
	10						m ²							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	12	—	0242

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—	
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0031

作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月26日		(水)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~4号機 外周堰排水弁設置工事								
	発生場所	H5エリア						2018/12/6	2018/12/6	2018/12/6
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/7/17	測定者			測定器名	F1-ICWBL-54	管理番号	54	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	保温材	B	06	W	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	不燃シート	B	10	W	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	ガラステープ類	B	10	W	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0243
				2018/12/10
調整後保管日時		2018年12月26日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/26 10:40	1 m ²			1
	2	1	不燃シート②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/26 10:40	0.8 m ²			1
	3	1	ガラステープ類②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/26 10:40	0.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0031

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年12月27日		(木)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F-1~4号機 外周堰排水弁設置工事									
	発生場所	増設アルプス南側 (GP-21)					2018/12/6	2018/12/6	2018/12/6		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/11/21	測定者		測定器名	F1-ICWBL-128	管理番号	F1-ICWBL-128			
※カテゴリ	No.	保管物名				※カテゴリ	物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③							
	1	金属ガラ	B	01	D	B	1 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	コンクリートガラ	B	02	D	B	0.1 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	機器類	B	03	D	B	0.3 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	4	保温材	B	06	D	B	0.1 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	5	不燃物その他	B	10	D	B	0.1 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	12	—	0244
				2018/12/10
調整後保管日時		2018年12月27日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2		ICW	F1-ICW-179	
3		ICWBL	F1-ICWBL-127	
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/27 10:45	1 m ³			1
	3	1	機器類②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/27 10:45	0.3 m ³			1
	4	1	保温材②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/27 10:45	0.3 m ³			1
	5	1	不燃物その他②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/27 10:45	0.3 m ³			1
	7	1	難燃シート類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアJ	2018/12/27 11:00	0.05 m ³			2

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
			①	②	③										
	6	ゴム類	C	01	D	B	0.3	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	7	難燃シート類	C	02	D	B	0.5	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	8	難燃物その他	C	04	D	B	0.3	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	9						m ²								
	10						m ²								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	12	—	0244

No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			2	$\mu\text{Sv/h}$	2	$\mu\text{Sv/h}$						m^3			
8	1	難燃物その他	2	$\mu\text{Sv/h}$	2	$\mu\text{Sv/h}$			エリアJ	2018/12/27 11:00	0.2	m^3			3
												m^3			
												m^3			
												m^3			
												m^3			
												m^3			
												m^3			
												m^3			
												m^3			
												m^3			
												m^3			
												m^3			
												m^3			
												m^3			
												m^3			
												m^3			
												m^3			
												m^3			
												m^3			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012314 - 0003

作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月26日		(水)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	福島第一原子力発電所 構内休憩所他の放射線管理業務								
	発生場所	水処理制御室、他4休憩所						2018/12/10	2018/12/7	
	作業主管G	作業環境改善グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/12/5	測定者			測定器名	ICW	管理番号	FI-ICW-170	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	3 m ²	3 μSv/h	3 μSv/h	無	
2	木材類	A	03	D	B	0.5 m ²	3 μSv/h	3 μSv/h	無	
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0245
				2018/12/10
調整後保管日時		2018年12月26日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/26 11:00	2 m ²			1
	2	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/26 11:00	0.3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013104 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月26日		(水)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1～4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事								
	発生場所	1F構外浄水場					2018/12/10	2018/12/10	2018/12/10	
	作業主管G	トレンチ対策グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/12/10	測定者		測定器名	SC	管理番号	F1-SC-089		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
	1	可燃物その他(草)	A	04	W	A	5 m ²	2 μSv/h	3 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
	注: α有、β有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0249
				2018/12/10
調整後保管日時		2018年12月26日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他(草)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/26 8:40	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0027

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月27日		(木)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	H5北・H6北エリアタンクリプレイス関連工事								
	発生場所	G1タンクエリア H1タンクエリア						2018/12/10	2018/12/10	2018/12/10
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/11/22	測定者			測定器名	ICW(BL)		管理番号	F1-ICWBL-34
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	塩化ビニール類	B	05	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	コンクリートガラ	B	02	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	不燃物その他	B	10	D	B	1.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	ゴム類	C	01	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
5	金属ガラ	B	01	D	B	1.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0251
				2018/12/10
調整後保管日時		2018年12月27日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年12月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	3	1	不燃物その他 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/12/27 10:50	1 m ²			1
	5	1	金属ガラ ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/12/27 10:50	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0181

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年12月26日		(水)	11:30		承認	審査	作成
	作業件名	薬液廃棄処理委託							
	発生場所	装置エリア7						2018/12/10	2018/12/10
	作業主管G	処理設備グループ				監理員		TEL	
	元請会社					担当者		TEL	
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/11/30		測定者			測定器名	ICWBL	
								管理番号 F1-ICWBL-35	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	機器類	B	03	D	A	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h
メ モ	2					m ²			
	3					m ²			
	4					m ²			
	5					m ²			
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0255
				2018/12/11
調整後保管日時		2018年12月26日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/26 11:05	0.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013206 - 0007

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月26日		(水)	12:00		承認	審査	作成	
	作業 件 名	電灯照明取替								
	発生 場所	6号機T/B B1FL						2018/12/10	2018/12/10	2018/12/10
	作業 主管 G	建築保全・総括グループ				監 理 員		TEL		
	元 請 会 社					担 当 者		TEL		
	線量測定年月日	2018/11/29	測定者		測定器名	シンチレーションヘイメーター	管理番号	F1-SC-166		
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
	① ② ③									
	1	照明器具	B	01	D	A	0.74 m ²	0.5 μSv/h	0.7 μSv/h	無
	2	照明器具(笠)	B	01	D	A	0.06 m ²	0.5 μSv/h	0.8 μSv/h	無
	3	照明器具(ガード)	B	01	D	A	0.4 m ²	0.5 μSv/h	0.7 μSv/h	無
	4	照明器具付属品(金具)	B	01	D	A	0.05 m ²	0.5 μSv/h	0.5 μSv/h	無
5	電線	B	08	D	A	0.05 m ²	0.5 μSv/h	0.5 μSv/h	無	
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0256
				2018/12/11
調整後保管日時		2018年12月26日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-042	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	照明器具 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/26 11:45	0.8 m ²			1
	2	1	照明器具(笠) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/26 11:45	0.1 m ²			1
	3	1	照明器具(ガード) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/26 11:45	0.4 m ²			1
	4	1	照明器具付属品(金具) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/26 11:45	0.05 m ²			1
	5	1	電線 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/26 11:45	0.05 m ²			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	12	—	0256

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —			
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
				D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013206 - 0011

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月27日	(木)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	空調設備保守点検業務委託							
	発生場所	免震重要棟			2018/12/10	2018/12/10	2018/12/10		
	作業主管G	建築保全・総括グループ		監理員	TEL				
	元請会社			担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/10/4	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号		
							F1-ICW-362		
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	空調系フィルター(活性炭)	B	10	D	A	5 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0257
				2018/12/11
調整後保管日時		2018年12月27日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-042	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	空調系フィルター(活性炭) ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2018/12/27 9:40	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0002

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月26日		(水)	12:00		承認	審査	作成	
	作業件名	汚染水タンク雨水対策(堰カバ)工事								
	発生場所	各タンクエリア						2018/12/11	2018/12/11	
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/12/3	測定者			測定器名	ICWBL($\beta + \gamma$)	管理番号	F1-ICWBL-128	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	不燃物(金属ガラ)	B	01	D	B	3 m ³	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	無
2	不燃物(その他)	B	10	D	B	0.1 m ³	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	無	
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0259
				2018/12/11
調整後保管日時		2018年12月26日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(金属ガラ) ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/26 11:10	2 m ³			1
	2	1	不燃物(その他) ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/26 11:10	0.1 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012601 - 0030

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年12月26日	(水)	12:30	承認	審査	作成	
	作業件名	バッファタンク取替工事						
	発生場所	1F 事務本館東側駐車場			2018/12/12	2018/12/12	2018/12/12	
	作業主管G	原子炉冷却グループ	監理員		TEL			
	元請会社		担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/12/10	測定者		測定器名	シンチサーバイメータ	管理番号	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	
		保管物名	①	②	③		β・α 汚染の有無	
	1	プラスチック類	A	02	W	A	0.1 m ²	
	2	難燃シート	C	02	W	A	0.5 m ²	
	3						m ²	
	4						m ²	
	5						m ²	
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0261
				2018/12/12
調整後保管日時		2018年12月26日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年12月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/26 12:00	0.01 m ²			1
	2	1	難燃シート	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/26 12:00	0.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・UIS類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	③	D	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012601 - 0030

作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年12月26日		(水)	12:30	承認	審査	作成		
	作業件名	バッファタンク取替工事								
	発生場所	1F 事務本館東側駐車場					2018/12/12	2018/12/12	2018/12/12	
	作業主管G	原子炉冷却グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/12/10	測定者		測定器名	シンチサーバイメータ	管理番号	リ-SC-175		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	金属ガラ	B	01	W	A	10 m ²	1.3 μSv/h	2 μSv/h	無	
2	ケーブル類	B	08	W	A	0.1 m ²	1.3 μSv/h	2 μSv/h	無	
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0262
				2018/12/12
調整後保管日時		2018年12月26日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-042	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/12/26 11:50	10 m ²			1
	2	1	ケーブル類①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/12/26 11:50	0.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015203 - 0001

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年12月26日		(水)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託3期								
	発生場所	5, 6仮置き場(5, 6号開閉所北側)						2018/12/12	2018/12/12	2018/12/12
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/11/5	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-033		
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	不燃物その他	B	10	D	A	36 m ²	0.004 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	0.018 mSv/h
2	可燃物その他	A	04	D	A	6 m ²	0.004 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	0.018 mSv/h
3	フランジタンク	B	01	D	A	4 m ²	0.004 mSv/h	0.09 mSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				

注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。
6m3コンテナ 7基

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0268
				2018/12/13
調整後保管日時		2018年12月26日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	6m3コンテナ (ZK-01509)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/12/26 10:50	6 m ²			ZK-01509	1
1	2	6m3コンテナ (ZK-01503)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/12/26 10:50	6 m ²			ZK-01503	1
1	3	6m3コンテナ (ZK-01512)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/12/26 10:50	6 m ²			ZK-01512	1
1	4	6m3コンテナ (ZK-01806)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/12/26 11:20	6 m ²			ZK-01806	1
1	5	6m3コンテナ (ZK-01817)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	固体庫9棟地上1階	2018/12/26 11:20	6 m ²			ZK-01817	1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ No.1,2の保管物は6m3コンテナ5基に分けて収納。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③					
	6					m ²				
	7					m ²				
	8					m ²				
	9					m ²				
	10					m ²				

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	12	—	0268

保管 実績 記録 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	3	1	フランジタンク ①	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアP1(屋外)	2018/12/26 10:35	4	m ³			1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・UES類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013213 - 0002

作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月27日		(木)	8:00		承認	審査	作成
	作業件名	3号機T/B屋上部雨水対策工事							
	発生場所	3号機T/B逆洗弁ピット周辺(GI-24)						2018/12/12	2018/12/12
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2018/12/11	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-282	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	不燃・金属ガラ	B	01	D	A	5 m ³	0.1 mSv/h	0.1 mSv/h
2						m ³			
3						m ³			
4						m ³			
5						m ³			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0271
				2018/12/13
調整後保管日時		2018年12月27日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-042	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃・金属ガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/27 8:15	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※ カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013213 - 0002

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月27日		(木)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	3号機T/B屋上部雨水対策工事									
	発生場所	3号機T/B逆洗弁ビット周辺(GI-24)									
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/12/11	測定者		測定器名	ICW		管理番号			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無			
		①	②	③				β + γ 線量率			
	1	不燃・金属ガラ	B	01	D	A	5 m ²	0.1 mSv/h	0.1 mSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0272
調整後保管日時				2018年12月27日
				8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-042	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃・金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/27 8:20	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013213 - 0002																																																																																					
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月27日		(木)	8:30		承認	審査	作成																																																																																						
	作業件名	3号機T/B屋上部雨水対策工事																																																																																													
	発生場所	3号機T/B逆洗弁ピット周辺(GI-24)					2018/12/12	2018/12/12	2018/12/12																																																																																						
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員			TEL																																																																																							
	元請会社				担当者			TEL																																																																																							
	線量測定年月日	2018/12/11	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-282																																																																																					
	No.	保管物名		※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率																																																																																					
	1	不燃・金属ガラ		B	01	D	A	5 m ³	0.1 mSv/h	0.1 mSv/h	無																																																																																				
	2							m ³																																																																																							
	3							m ³																																																																																							
4							m ³																																																																																								
5							m ³																																																																																								
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="12">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="11">2018年12月27日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="9">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="9">F1-ICW-042</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容												測定日	2018年12月27日											測定No.	氏名	測定器	管理番号									1		ICW	F1-ICW-042									2												3												4											
線量測定内容																																																																																															
測定日	2018年12月27日																																																																																														
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																												
1		ICW	F1-ICW-042																																																																																												
2																																																																																															
3																																																																																															
4																																																																																															
保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																																			
	1	1	不燃・金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/27 8:55	3 m ³			1																																																																																			
									m ³																																																																																						
									m ³																																																																																						
									m ³																																																																																						
									m ³																																																																																						
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																															
メ モ																																																																																															
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—																																																																																						
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—																																																																																						
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類																																																																																						
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他																																																																																						
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—																																																																																						
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—																																																																																						
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—																																																																																						
		D	伐採木																																																																																												
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																							
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																																																																																															

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013402 - 0063										
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年12月27日		(木)	10:30		承認	審査	作成	固体廃棄物管理G記入欄		受付								
	作業件名	5, 6T 滞留水処理装置除却工事								受 付 番 号										
	発生場所	Fエリア						2018/12/13	2018/12/13	2018/12/13	廃2018	12	0276							
	作業主管G	機械グループ				監理員	TEL				2018/12/13									
	元請会社					担当者	TEL				調整後保管日時 2018年12月27日 10:30									
	線量測定年月日	2018/11/19	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-128		【保管時の指示事項等】								
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率										
	1	水中ポンプ・移送ポンプ・モーター		B	03	D	A	2 m	2 μSv/h	2 μSv/h	無									
	2	ろ過機(金属製)		B	01	D	A	1 m	2 μSv/h	2 μSv/h	無									
	3	ろ過機(FRP)		B	10	D	A	1.5 m	2 μSv/h	2 μSv/h	無									
4	フィルター(FRP)		B	10	D	A	1.5 m	2 μSv/h	2 μSv/h	無										
5	計器・操作機器		B	03	D	A	0.5 m	2 μSv/h	2 μSv/h	無										
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																				
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
	1	1	水中ポンプ・移送ポンプ・モーター②		5 μSv/h		5 μSv/h				エリアP1(屋外)		2018/12/27 10:30		2 m				1	
	2	1	ろ過機(金属製)②		5 μSv/h		5 μSv/h				エリアP1(屋外)		2018/12/27 10:30		1 m				1	
	3	1	ろ過機(FRP)②		5 μSv/h		5 μSv/h				エリアP1(屋外)		2018/12/27 10:30		1.5 m				1	
	4	1	フィルター(FRP)②		5 μSv/h		5 μSv/h				エリアP1(屋外)		2018/12/27 10:30		1.5 m				1	
	5	1	計器・操作機器②		5 μSv/h		5 μSv/h				エリアP1(屋外)		2018/12/27 10:30		0.5 m				1	
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																			
	※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		—					
06 —					07 —		08 —		09 —		10 —									
B			不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類								
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他								
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —								
C			難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —								
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —								
D			伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —								
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —								
②			状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」												
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																				
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																				
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																				

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013402 - 0011

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月27日		(木)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	5・6T 滞留水貯留設備移送ライン他追設工事								
	発生場所	Fエリア						2018/12/13	2018/12/13	2018/12/13
	作業主管G	機械グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/12/3	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-128	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	水槽(鉄・FRP製)	B	10	D	A	1 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
2	鉄くず	B	01	D	A	3 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
3	ブレードホース	B	05	D	A	1 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
4	ビニール類	A	02	D	A	3 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
5						m ²				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	12	—	0277
				2018/12/13
調整後保管日時		2018年12月27日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2		ICW	F1-ICW-179	
3		ICWBL	F1-ICWBL-127	
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	水槽(鉄・FRP製) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/12/27 10:55	1 m ²			1
	2	1	鉄くず ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/12/27 10:55	1 m ²			1
	3	1	ブレードホース	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/27 11:30	0.3 m ²			3
	4	1	ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/27 11:30	2.1 m ²			2
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0030

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年12月27日		(木)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~4号機 タンクエリア水回収業務委託								
	発生場所	Cエリア南側					2018/12/13	2018/12/13	2018/12/13	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
G	線量測定年月日	2018/12/11	測定者			測定器名	Naシンチレーション		管理番号	F1-SC-205
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	保温材	B	06	D	B	4 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
	2						m ²			
入	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0279
				2018/12/14
調整後保管日時		2018年12月27日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-042	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材 ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2018/12/27 8:40	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年12月27日	(木)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)								
	作業主管G	総務グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/12/13	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号 363			
	No.	保管物名	※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	わりばし	A	03	D	A	4 m ³	2.2 μSv/h	2.2 μSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
メモ	持ち込み 12月中旬に処理希望									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	12	—	0280
調整後保管日時				2018年12月27日 9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	わりばし	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/27 9:30	4 m ³				1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持ち込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年12月27日	(木)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)								
	作業主管G	総務グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/12/13	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号	363		
	No.	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β-α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	缶	B	10	D	A	3 m ³	2.2 μSv/h	2.2 μSv/h	無	
2	ビン	B	10	D	A	1 m ³	2.2 μSv/h	2.2 μSv/h	無	
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
メモ	持ち込み 12月中旬に処理希望									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	12	—	0281
				2018/12/14
調整後保管日時		2018年12月27日 10:30		
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年12月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-042
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μSv/h	5	μSv/h								
	1	1	缶②	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアPI(屋外)	2018/12/27 9:50	2 m ³			1
	2	1	ビン②	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアPI(屋外)	2018/12/27 9:50	1 m ³			1
												m ³			
												m ³			
												m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013203 - 0012			
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月27日		(木)	12:00		承認	審査	作成				
	作業件名	1～4号機サブドレン保守点検											
	発生場所	1～4号R/B西側・南側エリア、集水タンクエリア						2018/12/14	2018/12/14	2018/12/14			
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員			TEL				
	元請会社					担当者			TEL				
	線量測定年月日	2018/12/6	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-3			
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	汚泥	B	04	W	A	2 m ³	5 μSv/h	5 μSv/h	無			
	2	防災シート	B	10	D	B	1 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無			
	3	不燃シート	B	10	D	B	1 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無			
4						m ²							
5						m ²							
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。													
保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
	1	1	汚泥 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/12/27 11:00	2 m ³			1	
	2	1	防災シート ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/12/27 11:00	1 m ²			1	
	3	1	不燃シート ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/12/27 11:00	1 m ²			1	
									m ²				
									m ²				
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013305 - 0010

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月27日	(木)	12:00	承認	審査	作成			
	作業件名	雑固体焼却施設運転(H28年3月運転開始)								
	発生場所	5・6号中央操作室			2018/12/14	2018/12/14	2018/12/14			
	作業主管G	運営グループ		監理員	TEL					
	元請会社	—		担当者	TEL	—				
	線量測定年月日	2018/12/14	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号			
						F1-ICWBL-4				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	イ(解体済み)	B	10	D	A	6.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	プラスチック・ビニール類	A	02	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	木材	A	03	D	A	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0285
				2018/12/14
調整後保管日時		2018年12月27日 12:00		
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2		ICW	F1-ICW-179	
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	イ(解体済み)②	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアP(屋外)	2018/12/27 11:35	4 m ²			1
2	1	プラスチック・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h			エリアJ	2018/12/27 12:00	1 m ²			2
3	1	木材	2 μSv/h	2 μSv/h			エリアJ	2018/12/27 12:00	0.5 m ²			2
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年12月27日		(木)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	H6タンクエリア									
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL					
	元請会社			担当者		TEL					
	線量測定年月日	2018/12/12	測定者		測定器名	ICW-BL		管理番号			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無			
		①	②	③				β + γ 線量率			
	1	金属ガラ	B	01	D	A	6 m ³	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β有	1 mSv/h
	2	不燃物その他	B	10	D	A	12 m ³	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β有	1 mSv/h
	3						m ³				
	4						m ³				
	5						m ³				
メモ	キャスクNo.139 No.140 No.136										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0286
				2018/12/17
調整後保管日時		2018年12月27日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年12月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ (ZK-01746)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/12/27 8:30	6 m ³		ZK-01746	1
	1	2	6m3コンテナ (ZK-01750)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/12/27 8:30	6 m ³		ZK-01750	1
	1	3	6m3コンテナ (ZK-01752)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/12/27 8:30	6 m ³		ZK-01752	1
									m ³			
									m ³			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
	上記の保管物は6m3コンテナ3基に分けて収納。											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年12月27日	(木)	9:30	承認	審査	作成
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事					
	発生場所	H6タンクエリア					
	作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL		
	元請会社		担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/12/12	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		保管物名	①	②	③		β・α 汚染の有無
	1	金属ガラ	B	01	D	A	9 m ³
	2	不燃物その他	B	10	D	A	9 m ³
	3						m ³
	4						m ³
	5						m ³
メモ	キャスクNo.133 No.141 No.134						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0287
				2018/12/17
調整後保管日時		2018年12月27日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年12月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ (ZK-01515)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/12/27 9:15	6 m ³		ZK-01515	1
	1	2	6m3コンテナ (ZK-01617)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/12/27 9:15	6 m ³		ZK-01617	1
	1	3	6m3コンテナ (ZK-01744)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2018/12/27 9:15	6 m ³		ZK-01744	1
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
メモ	上記の保管物は6m3コンテナ3基に分けて収納。											

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012320 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月27日	(木)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F構内瓦礫保管								
	発生場所	一時保管エリア C			2018/12/17	2018/12/17	2018/12/17			
	作業主管G	固体廃棄物管理グループ	監理員		TEL					
	元請会社		担当者		TEL					
	線量測定年月日	2018/12/11	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-082		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	トンパック(土砂付)	B	10	D	A	30 m ²	0.005 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0288
				2018/12/17
調整後保管日時		2018年12月27日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-042	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	トンパック(土砂付) ②	5 μ Sv/h	20 μ Sv/h		エリアP(屋外)	2018/12/27 9:00	30 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	D	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月27日	(木)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア			2018/12/18	2018/12/18	2018/12/18			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/11/26	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	B	8 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
大型2台										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0289
				2018/12/18
調整後保管日時		2018年12月27日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2018/12/27 8:35	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0011

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月27日		(木)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1～4号機T/B東側構内整備工事								
	発生場所	8.5m盤既存地組ヤード(GI-21～24)						2018/12/18	2018/12/18	
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/12/17	測定者			測定器名	ICW		管理番号	
							F1-ICW-219			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	可燃物・紙・ウエス類	A	01	D	B	1 m ²	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	無
2	可燃物・プラ・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1 m ²	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	無	
3	可燃物・木材類	A	03	D	B	1 m ²	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	無	
4	可燃物・その他	A	04	D	B	1 m ²	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	無	
5						m				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0291
				2018/12/18
調整後保管日時		2018年12月27日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年12月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物・紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/27 10:00	0.9 m ²			1
	2	1	可燃物・プラ・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/27 10:00	1 m ²			1
	2	2	可燃物・プラ・ポリ・ビニール類(→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/27 10:00	0.2 m ²			1
	3	1	可燃物・木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/27 10:00	1.5 m ²			1
	4	1	可燃物・その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/27 10:00	1.4 m ²			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0011

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年12月27日	(木)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1～4号機海側周辺構内整備工事								
	発生場所	8.5m盤既存地組ヤード(GI-21～24)			2018/12/18	2018/12/18	2018/12/18			
	作業主管G	建築水対策グループ		監理員						
	元請会社			担当者						
	線量測定年月日	2018/12/17	測定者		測定器名	ICW	管理番号			
							F1-ICW-219			
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	難燃物・難燃シート類	C	02	D	B	1 m ²	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	無	
2	難燃物・その他	C	04	D	B	0.5 m ²	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	無	
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0292
				2018/12/18
調整後保管日時		2018年12月27日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物・難燃シート類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/27 10:00	0.2 m ²			1
	2	1	難燃物・その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/27 10:00	0.01 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015203 - 0001

保 管 実 績 記 入 欄	保管希望日時	2018年12月27日		(木)	12:30	承認	審査	作成		
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託3期								
	発生場所	5, 6仮置き場(5, 6号開閉所北側)					2018/12/18	2018/12/18	2018/12/18	
	作業主管G	工事基盤整備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/11/5	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-033		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	A	10 m ²	0.004 mSv/h	0.006 mSv/h	無
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。
6m3コンテ5基

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0293
				2018/12/19
調整後保管日時		2018年12月27日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h			エリアP1(屋外)	2018/12/27 11:40	10 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013103 - 0008

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年12月26日		(水)	13:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F敷地北側海岸保全工事								
	発生場所	北側護岸					2018/12/20	2018/12/20	2018/12/20	
	作業主管G	港湾土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/12/3	測定者		測定器名	TCS-171	管理番号	F1-SC-025		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	トンバック	A	04	D	B	4 m ²	0.58 μSv/h	0.58 μSv/h	無	
2	紙、ウエス	A	01	D	B	0.5 m ²	0.58 μSv/h	0.58 μSv/h	無	
3	プラスチック	A	02	D	B	0.5 m ²	0.58 μSv/h	0.58 μSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				
注:	α有、βα有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	12	—	0294
				2018/12/20
調整後保管日時		2018年12月26日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年12月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	トンバック	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/26 13:00	6.2 m ²			1
2	1	1	紙、ウエス	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/26 13:00	0.3 m ²			1
3	1	1	プラスチック	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアJ	2018/12/26 13:00	0.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。